

「柳生和紙」

● 仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道

柳宗悦と強製紙

生活に密着した道具の美しさを評価する民芸運動の創始者・柳宗悦は、仙台周辺でも幾つかの民芸品を見出ししています。仙台簞笥や仙台平、堤焼など、現在も生産が続けられているものもありますが、一方では「編み方が大変綺麗な上に、形の美しいのがあります。着物の埃を払うのに上々の品」と評した「仙台市の郡山で出来る小型の手帯」のように、今では失われてしまった道具もあります。

その柳宗悦が高く評価したものの一つに、柳生和紙があります。日本各地の和紙を語った「和紙十年」という小文の中で彼は「最も忘れ難いのは、陸前名取郡中田村柳生で作る「強製紙」である」と述べています。



かつては柳生地区のほとんどの農家で紙漉きが行われたが、現在は「柳生和紙工房」の佐藤家の1軒のみになった  
画像提供：「手とてとテ —仙台・宮城の手しごとたち—」

柳宗悦が中田村柳生（現、仙台市太白区柳生）で強製紙の製造現場を訪れたのは、昭和九年（一九三四）のことでした。この強製紙は「紙子」の素材として用いられていました。「紙子」とは紙を材料とする衣服のことで、古くから防寒衣料や寝具を中心に広く普及していたものです。柳生で作られていた強製紙は、洗濯に耐えるほど丈夫でありながら柔らかく、色調も美しく、「こんな和紙は他に類がない」と柳は絶賛しています。

柳生和紙のルーツ

柳は強製紙を紙子の素材としてだけでなく本の表紙に最適なものと考え、自身の著作に用い、そして知人にも熱心に勧めたそうです。これほどまでに柳を夢中にさせた柳生和紙は、どんなルーツを持っていたのでしょうか。

明治時代の文献は、伊達政宗が阿部倉治・佐藤惣之助・佐藤助左衛門・阿部清五郎という四人の技術者を伊達郡茂庭村（現、福島市茂庭）から柳生に呼び寄せて紙を作らせたのが柳生和紙の始まり、と記しています。しかし、以前に柳生の歴史に詳しい旧家の方に聞き取りをした際「この四人の名前は、明治時代に柳生で指導的な立場にあった人の名前前で、政宗が柳生に呼び寄せた紙漉きの名前がこうだったとは思えない」と教えてもらったことがあります。それでは、明治時代の文献は信頼できないのでしょうか？ どうも簡単にそ

うとは言えないようです。江戸時代の資料を見ると、柳生で紙漉きをしていた人の何人かは「茂庭紙漉」という肩書きを持ち、藩から禄を与えられるなどの特権を与えられていたことが確認できるのです。この文献は、「阿部倉治・佐藤惣之助・佐藤助左衛門・阿部清五郎の四人の先祖が政宗に紙漉きとして呼び寄せられた」と書こうとしたのを誤ってしまった可能性が高いようです。

仙台藩の名産品

宮城県の名産品には「政宗が〇〇〇したのがその始まり」とするものが幾つもあります。しかし、調べてみると、特段の根拠もなくいつの間にかそうした話が広まったというのが少なからず見られます。そうした中で柳生和紙は、政宗の時代から生産されていたことを証明できる数少ない特産品なのです。

寛永二年（一六二五）、柳生村の住人二三人に対し、藩に紙を納入することと、その代償として租税の一部免除を約束した証文が出されました。また同じころの古文書で「茂庭紙漉」に藩が禄を与えたことを証明するものもあるのです。伊達政宗の時代の柳生では、茂庭紙漉が中心となっており、数十人の村人が紙を漉き、藩に納めていたことは間違いない歴史的事実なのです。

こうして生産が始まった柳生の和紙の中でも「鼻紙」と称される高級品は質が良く、藩から幕府への献上品や、他の大名への贈答品に用いられた記録があるのです。このように、政宗の時代に始まり、仙台藩を代表する産物となり、柳宗悦にも高く評価された柳生和紙は、仙台自慢の逸品として、もっと注目されても良いのではないのでしょうか。

国宝・薬師寺の名宝、仙台限定特別公開。

東日本大震災復興祈念特別展

国宝 吉祥天女が舞い降りた!—奈良 薬師寺 未来への祈り—

2015年4/24(金)~6/21(日)

【観覧料】一般：1,300円 大学・高校生：1,000円 小・中学生：600円

※この他、各種割引があります。詳細は博物館までお問い合わせください。

開館時間：午前9時~午後4時45分(最終入館午後4時15分)

休館日：月曜日、5月7日(木) ※4月27日、5月4日は開館

●前売券好評発売中●一般：1,100円(4/23まで)

■主催：「奈良 薬師寺 未来への祈り」実行委員会(仙台市博物館、NHK仙台放送局、NHKプラネット東北)、法相宗大本山薬師寺、河北新報社

仙台市博物館 TEL:022-225-3074  
SENDAI CITY MUSEUM http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/



国宝 吉祥天女像(部分) 薬師寺蔵 撮影:飛鳥園



国宝 聖観世音菩薩立像 薬師寺蔵 撮影:飛鳥園